劇団 風の子九州

こどもは宝だ！ みんなのふるさとファミリー劇場

とっぴんしゃん

風の子あそびや

厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財
厚生労働省社会保障審議会特別推薦作品

３人の役者が博多名物の屋台をひいて登場。博多弁を交え、地元九州のわらべ唄や伝承あそびを素材に、子どもたちといっしょに創る舞台です。

また福岡県無形文化財『筑前博多独楽』の芸はきっと皆さんを魅了します。伝統文化の継承と新しい「あそび」や「文化」の再創造を促す作品です。

こどものいるとこ どこへでも

～演劇の力で心を耕し、地域を耕します～

みなさんこんにちは！劇団風の子九州です。

ご存知でしょうか、子どもたちはお芝居が大好きです。目の前で繰り広げられる様々な場面や役者たちの演技にくぎ付けになります。五感をフルに働かせて集中します。それは正に、心が運動している時間。しかし最近の子どもたちはゲーム機に夢中です。実は、ゲームで遊んでいる時間は、ある種の中毒症状で心は育ちません。子ども時代の豊かな体験が人間を創るのですが!?

さて今回、みなさんのお住いの近所にお芝居がやってきます。しかし子どもたちは、大人のサポートなしにはお芝居を楽しむことが出来ません。地域にとって子どもは宝です。地域はみんなのふるさとです。爽やかな五月の夜、この機会に是非、子どもたちと一緒に生のお芝居を楽しんでください。ご来場、おまちしております。

出演者

山ン本佐助
中山　由美
稲永　清音

スタッフ

作・演　出／中島　研
演出助手／あさのゆみこ
美　　術／有賀二郎
わらべ唄・遊び指導／古賀由美子
（福岡教員養成所教授）
博多独楽指導／筑紫珠楽
制　　作／仮屋祐一

子どもにとって演劇とは！？

（フィリップ・プルマン：英国のベストセラー作家、脚本家。代表作『ライラの冒険』）

子どもたちから、秘密の隠れ家や、優しさ、食べ物、飲み水、運動などを、もし私たちが取り上げてしまったら、子どもたちは生きていけるはずがありません。同じように、もし子どもたちから美術、音楽、物語、演劇を取り上げてしまったら、子どもたちの心の中は枯れ果ててしまいます。でも子どもたちが芸術に飢えていることは、なかなか表面には現れてはこないので、おとなたちは子どもに芸術が必要だということがわからないのです。

（『児童・青少年演劇ジャーナル５』より転載）

公演スケジュール

5/11（土）
豊前市
多目的文化交流センター・小ホール
豊前市大字八屋 1776-2
TEL0979-53-9535

5/10（金）
築上町
中央公民館・大ホール
築上町大字高塚 756
TEL0930-56-0251

5/17（金）
上毛町
げんきの杜・多目的ホール
上毛町大字八ツ並 143-1
TEL0979-72-1455

5/16（木）
みやこ町
中央公民館・講堂
みやこ町犀川本庄 641-1
TEL0930-42-1365

開　演
19：00
（5/11 は 14：00）
上演時間 60 分

チケット
1,000円
4歳以上 当日券のみ

お問い合わせは

劇団 風の子九州
KAZENOKO-KYUSHU Theatre Company
〒814-0002 福岡市早良区西新５丁目5-13
☎092-841-7889㈹ FAX092-841-7896
https://www.kazenoko-kyushu.com/
E-mail：info@kazenoko-kyushu.or.jp

こちらからもホームページへアクセスできます